



# たまなん通信

文責：横森一哲

## 地域で子どもたちの学びや成長を！ ありがとうございました！！

これからの時代を生き抜く力の育成に、学校だけでは得られない知識・経験・能力が求められています。地域で子どもたちの学びや成長を支えていただいています。

### 代掻き 田植え



「子どもまもり隊」の代表をされている田中好久さんの田で、田中さんから代掻きをする意味を教えてくださいました。さらに、子どもたちは、代掻きをする前の土とした後の土を実際に田に入って自分の足で確かめる体験をさせてもらうことができました。子どもたちは、その違いを足の裏から直に感じ、声を上げて驚いていました。



その数日後、代掻きが終わった田で、田植えをさせていただきました。貴重な体験です。田中さんからは、稲や田植え機について説明もしていただきました。

### とうもろこし収穫！

地域の相原農園さんのご支援のもと、昨年度3月の末、子どもたちは、相原農園さんの畑にトウモロコシの種をまきました。そのトウモロコシが収穫の時を迎え、一人あたり5本のとうもろこしを収穫させていただきました。家に持ち帰った子どもたちは、新鮮なトウモロコシの味を家族で楽しみました。



# コミュニティ・スクール＝学校運営協議会を 設置した学校

学校運営協議会は、法律に基づいて教育委員会によって任命された委員が、一定の権限を持って、学校の運営とそのために必要な支援について協議する合議制の機関です。

令和4年度の地域からの委員さん 8名

鈴木章安さん（元市教育委員，初代PTA会長）	市村一司さん（元高校校長）
宮澤ふみ子さん（地域在住者）	泉 玄洋さん（給食センター長）
梶原香里さん（主任児童員）	田中好久さん（子どもまもり隊代表）
窪田雅一さん（前PTA会長）	大神田俊介さん（PTA会長）

6月21日（火）に、玉穂南小学校において、令和4年度第1回目の学校運営協議会が開催されました。校長の学校運営の方針を承認していただき、学校運営の目標やビジョンを共有しながら、学校運営や必要な学校への支援について、熟議していただきました。

## 全校 手作り弁当の日！

### 児童会たて割り班活動 6月14日(火)

中央市内全8小中学校で取り組んでいる『手作り弁当の日』。その日には、各家庭でコミュニケーションをとりながら、自分で食べるものを自分で考えたり調理したりすることにより食育を推進する目的で毎年取り組んでいます。栄養のバランスを考えながら、お家の人と楽しみながらおかずを作ったりお弁当箱に盛り付けたりと、発達段階に応じて取り組んだお弁当は子どもたちも格別のように、みんないつも以上にニコニコしながら食べていました。

お弁当を各教室で食べた後は、お待ちかねの縦割り班での活動開始です。いつも驚くことですが、玉穂南小学校の6年生の下級生への対応は、とてもしなやかで、見ていてとても微笑ましいです。

